

S

K-PROX™ 2.5  
ユーザーマニュアル

P

L

E

!

Ver. 2.5.0.0

©2011, 株式会社ケイエルジェイテック

## 1. K-PROX2.5 とは

K-PROX v2.5 アプライアンスサーバは、簡単に設置できる、プロキシによって POP/SMTP メールや Web ブラウザでのアクセスを保護するアプライアンスサーバです。POP メール受信ではウイルス対策及びスパム対策、SMTP メール受信と送信ではウイルス対策、Web アクセスではウイルス対策とコンテンツフィルタに対応しています。Web ブラウザで指定するプロキシタイプのアクセスに加え、ネットワーク経路に挟み込む「ブリッジ接続」で、PC の設定を変更せずにネットワーク全体を保護することが可能です。

### 1.1. アプライアンスサーバの目的

K-PROX アプライアンスサーバは、POP メール受信、SMTP メール受信と送信や Web アクセスを代理で行うプロキシ処理を行います。プロキシ処理を行う際、アンチウイルス機能及びアンチスパム機能、コンテンツフィルタ機能でフィルタリングを行い、PC からは適切なコンテンツのみにアクセスが行えます。

アンチウイルス、アンチスパムの機能は、カスペルスキーアンチウイルス及びカスペルスキーアンチスパム UNIX 製品を利用可能です。お客様の予算に合わせて、ライセンス費用やパフォーマンスによっては機能を外す形でも出荷しています。現在お使いのアプライアンス、K-PROX のライセンス形態がわからない場合は、販売店もしくは販売代理店にお問い合わせ下さい。

### 1.2. K-PROX 2.5 の管理 GUI 画面

旧バージョンと変わらず、アプライアンスを設定する管理 GUI 画面は、ブラウザからリモートでアクセスいたします。アクセスした際、ユーザ認証がございます。

「supervisor」ユーザは、全ての管理機能を利用できます。

「admin」ユーザは、統計情報管理等、最低限の管理機能のみ利用できます。

「spamregist」ユーザは、統計情報管理等、最低限の管理機能のみ利用できます。

それぞれのユーザのパスワードは、同梱のドキュメントをご参照下さい。

これより先の解説では、ほぼ全ての項目で管理 GUI 画面上で操作することになります。管理 GUI へのアクセスが出来ない場合は、サポートまでお問い合わせ下さい。

## 2. K-PROX 2.5 の配置

K-PROX2.5 アプライアンスサーバは、配置の形が 2 種類あります。PC 等からアクセスできる場所に配置し、ブラウザ等でプロキシ指定する「プロキシ接続」と、ネットワークの基幹部分 HUB のように接続して挟み込む「ブリッジ接続」です。ブリッジ接続の場合、2 つあるネットワークポートに Internet 側からのケーブルと、保護対象ネットワークからのケーブルをそれぞれ接続し、ネットワーク HUB のように配置することで動作いたします。

### 2.1. 物理的な配置とステータスランプの確認

K-PROX 2.5 は 19 インチラックマウントサーバです。可能であれば 19 インチラックに設置してください。レールも付属しておりますので、固定する場合は、レールを先にラックに固定してください。

排気の問題が発生しないよう、埃の少ない場所で、前後に空気の流れが発生しやすい場所に設置してください。

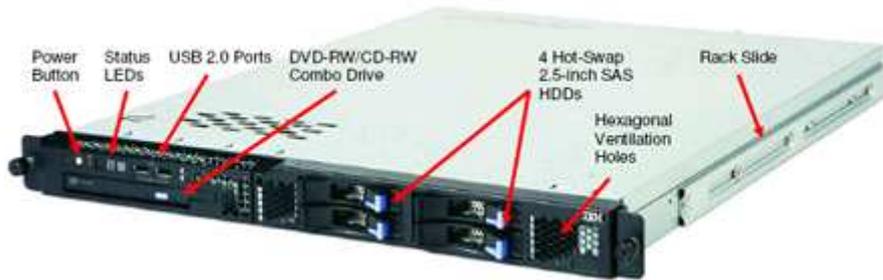
K-PROX 2.5 は、緑色の前面カバーがついております。両端を軽く真ん中の方向に押すと取り外せます。起動するには、背面に電源ケーブルとネットワークケーブルを挿し、前面の電源スイッチを押します。

サーバステータスランプは上から

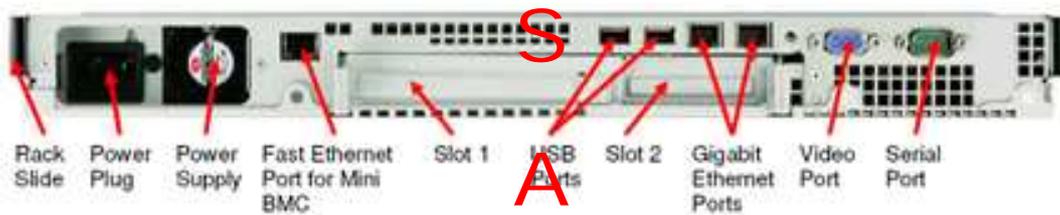
- ・ HDD1 パワーランプ
- ・ HDD1 アクセスランプ
- ・ 本体パワーランプ
- ・ ネットワーク（リンクアップ時は赤で点灯、アクセス時は点滅）
- ・ 未使用
- ・ 未使用
- ・ HDD2 パワーランプ
- ・ HDD2 アクセスランプ

となります。

**KP-305、KP605 前面**



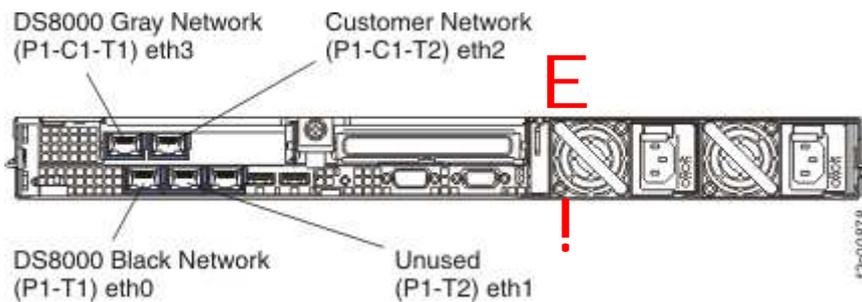
**KP-305、KP605 背面**



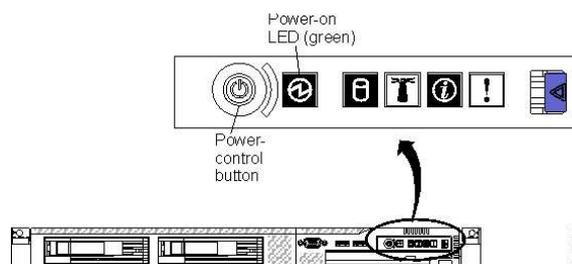
**KP-1005 前面**



**KP-1005 背面**



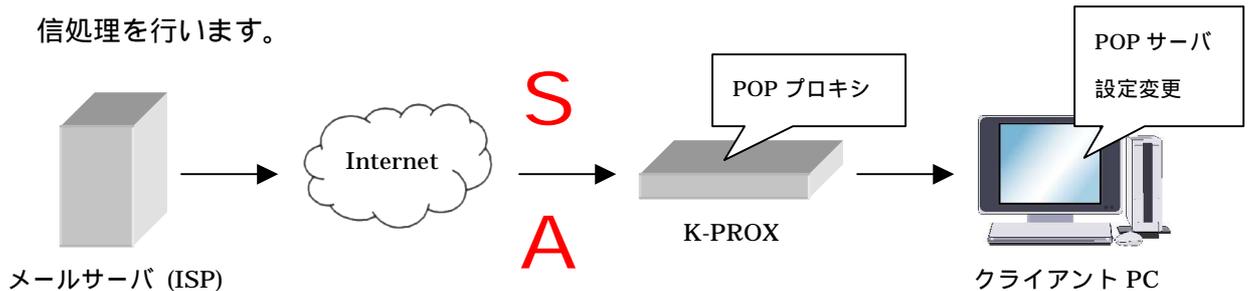
S  
A  
M  
P  
L  
E  
!



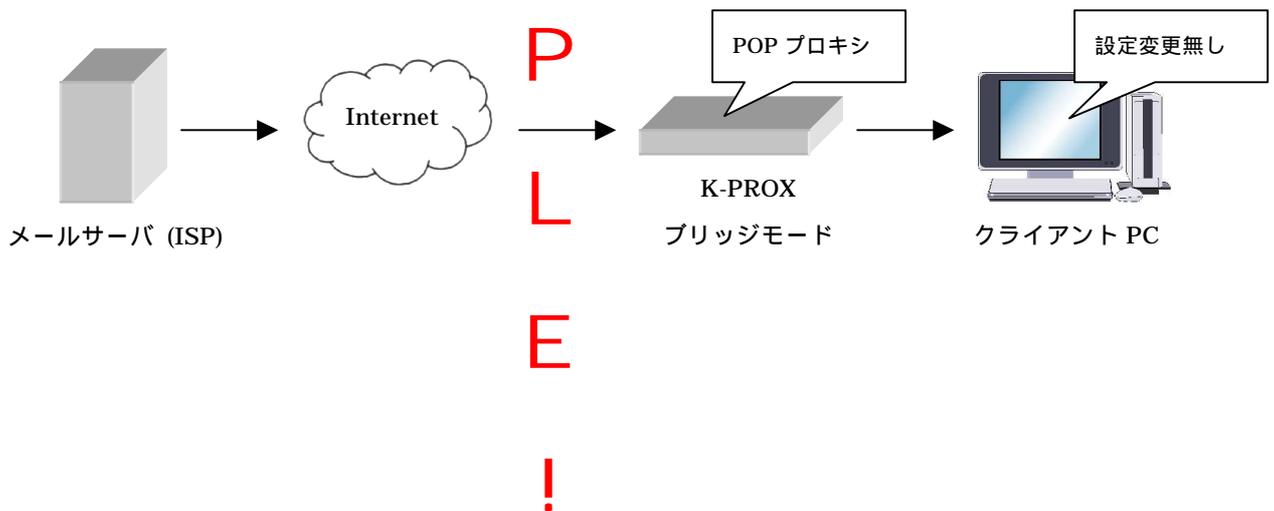
## 2.2. POP メール受信フィルタリングの場合の配置及び設定

アプライアンスを完全に既存ネットワークの前に配置する「ブリッジモード」を使用する場合、アプライアンスの各ネットワークインターフェースについて、片側を「外部ネットワーク」、もう片側を「保護対象ネットワーク」に接続し、物理的にネットワーク図に割り込むように設置します。

- 1) プロキシ接続では、ネットワーク上のどこに配置してもかまいません。PC 側で POP サーバ設定を変更し、メール受信ボタンを押すことでメールがフィルタリングされ、受信処理を行います。



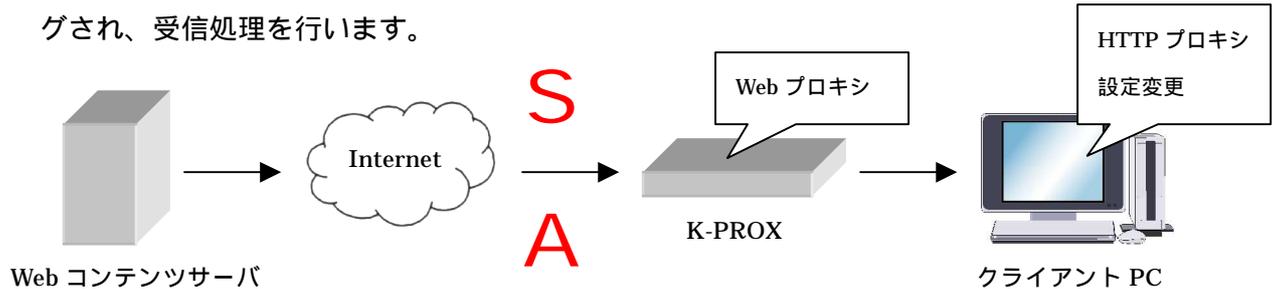
- 2) 「ブリッジモード」で、メールサーバと保護対象ネットワークの間にアプライアンスを配置する場合、設定は一番簡単になります。アプライアンス越しに POP 受信処理を行うだけで、設定変更無しでフィルタリング処理を行います。



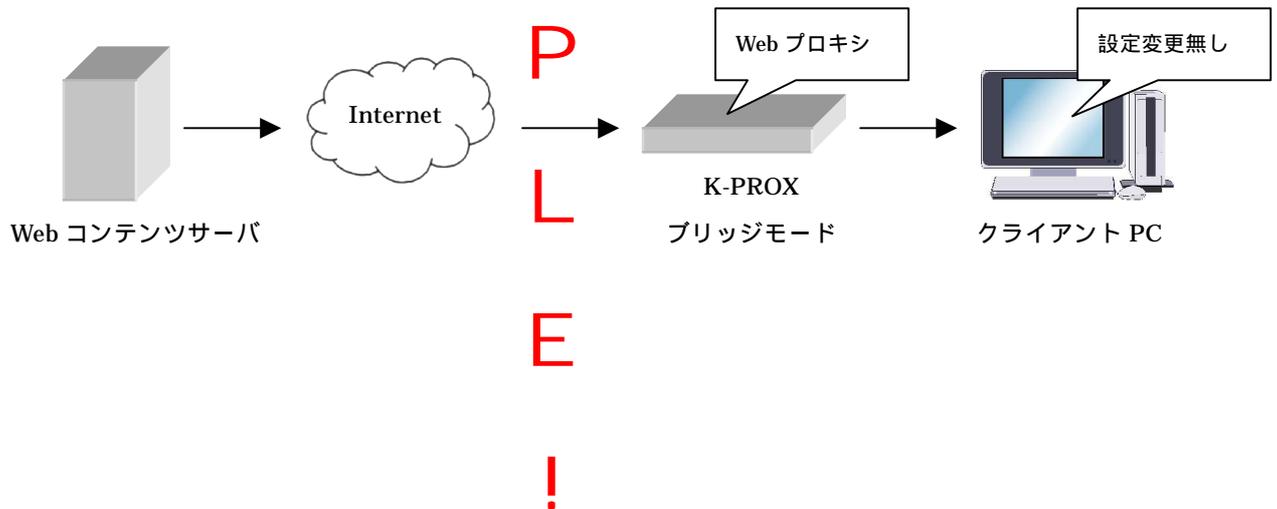
### 2.3. Web アクセスフィルタリングの場合の配置及び設定

アプライアンスを完全に既存ネットワークの前に配置する「ブリッジモード」を使用する場合、アプライアンスの各ネットワークインターフェースについて、片側を「外部ネットワーク」、もう片側を「保護対象ネットワーク」に接続し、物理的にネットワーク図に割り込むように設置します。

2) プロキシ接続では、ネットワーク上のどこに配置してもかまいません。PC 側で HTTP プロキシ設定を変更するだけで、Web ブラウザ経由の HTTP/FTP 通信がフィルタリングされ、受信処理を行います。



2) 「ブリッジモード」で、Internet と保護対象ネットワークの間にアプライアンスを配置する場合、設定は一番簡単になります。アプライアンス越しに Web ページを閲覧するだけで、設定変更無しでフィルタリング処理を行います。



### 3. ネットワークの設定について

#### 3.1. ネットワークで接続

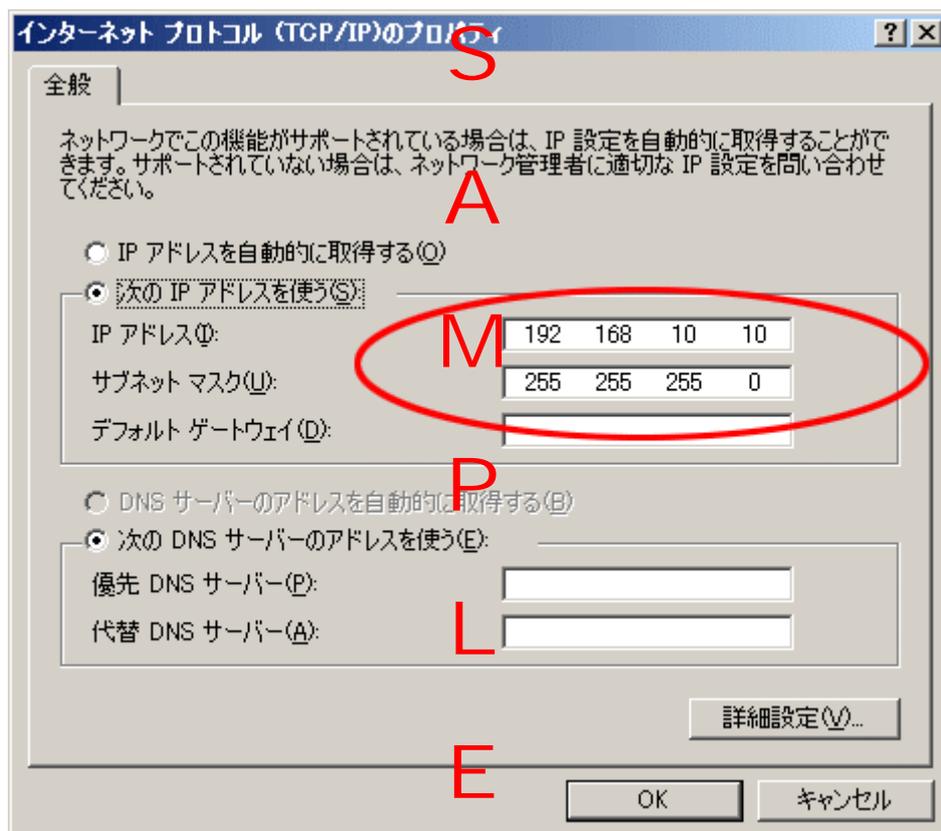
ネットワークケーブルをアプライアンスに接続し、操作する PC のネットワーク設定を

IP アドレス : 192.168.10.10

サブネット : 255.255.255.0

にしてください。

できればノートパソコン等で、クロスケーブルで接続してください。



アプライアンスのネットワークは、発注時に事前指定が無い場合は 1 つ目(eth0)は 192.168.10.1、2 つ目(eth1)は 192.168.10.2 になっています。PC から、下記の url に Web ブラウザからアクセスしてください。

<http://192.168.10.1:8888/>

もしくは

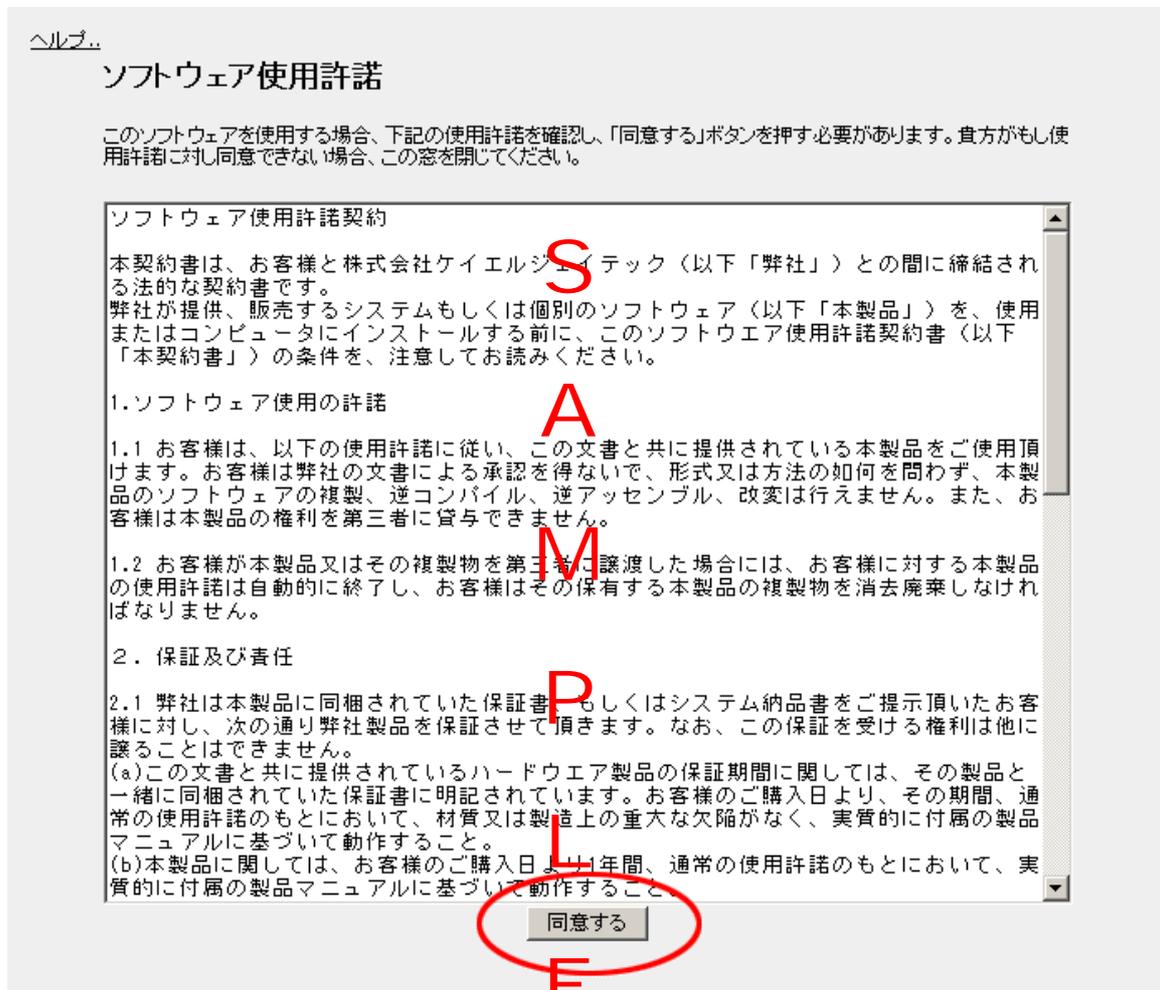
<http://192.168.10.2:8888/>

PC を接続したネットワーク端子によって、url が違います。

ブリッジモードの場合、両方が eth0 の設定となります。

### 3.2. 規約への同意

初めて GUI 画面にアクセスした場合、使用許諾契約書の内容が表示されます。使用許諾契約書の規約を確認し、同意ボタンを押してください。操作するための管理 GUI 画面が表示



されます。

同意ボタンを押した際、次の画面が表示されるまで少々時間がかかる場合がございます。表示が遅いと感じられた場合、ブラウザの[更新]を押してみてください。

### 3.3. ウィザードインターフェースによるネットワーク設定

[ネットワーク初期設定]の画面から対話式のウィザードインターフェースで設定を変更することにより、簡単に設定が行えます。複雑なネットワーク設定を行う場合は、[ネットワーク詳細設定]の画面より設定する必要があります。

出荷時、ネットワークカードは、1つ目(eth0)は 192.168.10.1、2つ目(eth1)は 192.168.10.2 になっています。

ブリッジモードの場合、eth0のみを設定してください。

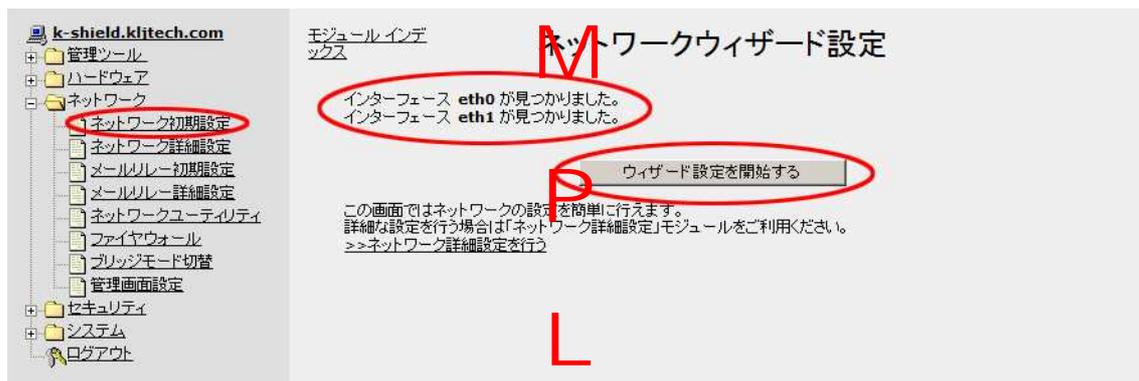
設置するネットワークの、適切なネットワーク設定に変更してください。

ブラウザの左フレームの[ネットワーク][ネットワーク初期設定]をクリックしてください。

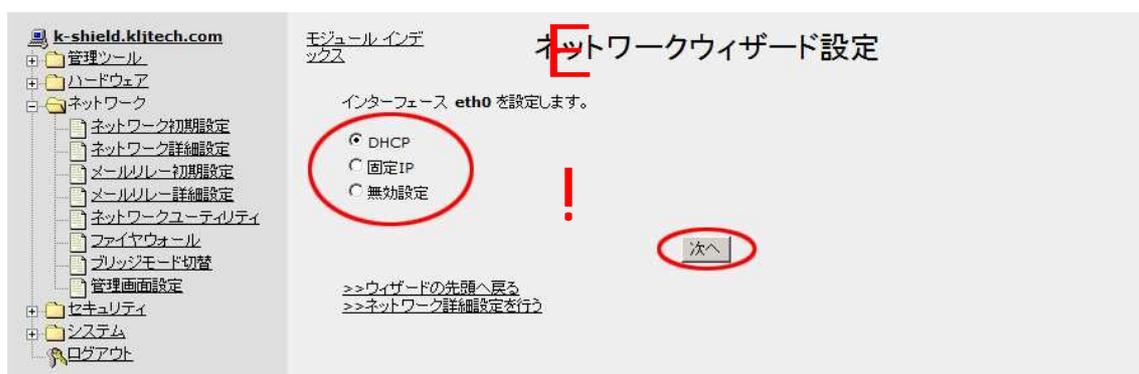
[インターフェース eth0 が見つかりました]

[インターフェース eth1 が見つかりました]

上記のようなメッセージが、インターフェースの数だけ表示されます。



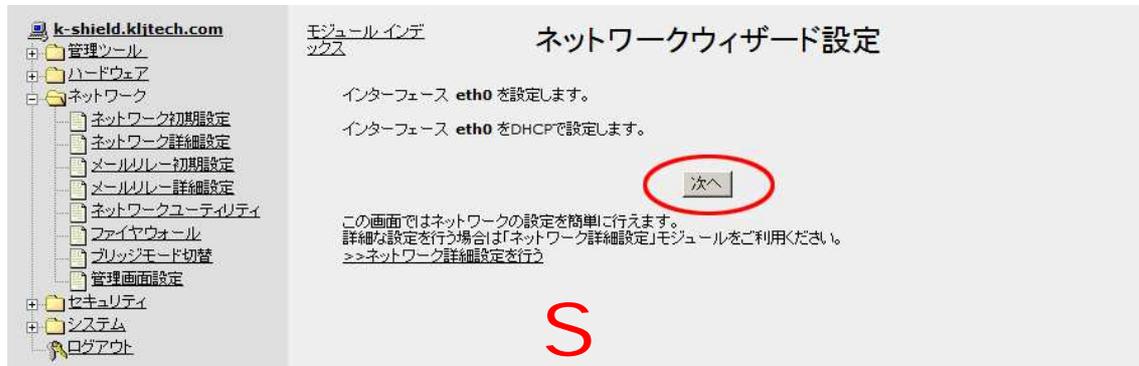
[ウィザード設定を開始する]ボタンを押すと、対話式のウィザード設定が行えます。



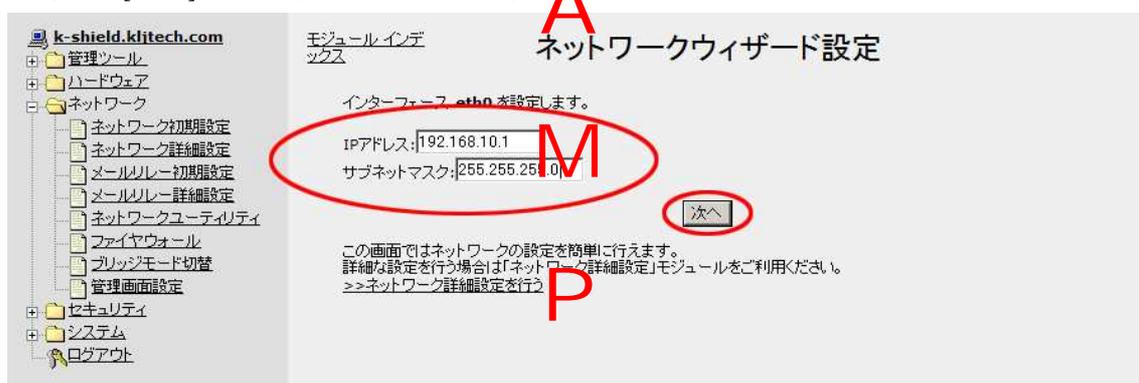
インターフェース毎に、[DHCP]、[固定 IP]、[無効設定]の選択が行えます。[DHCP]は自動的に IP 等の設定が割り当たります。固定 IP は、設定を固定で指定できます。[無効設定]の場合、そのインターフェースは無効になります。

選択し、[次へ]ボタンを押してください。

[DHCP]もしくは[無効設定]を選択した場合、確認メッセージが表示されます。[次へ]ボタンを押してください。

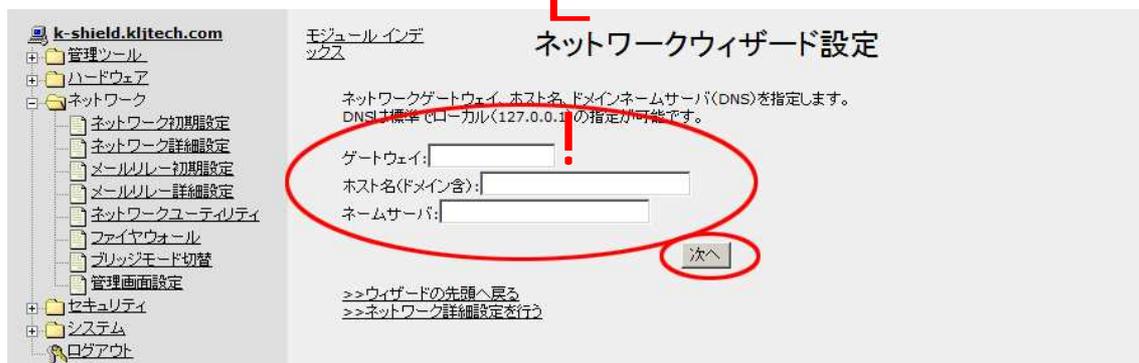


[固定 IP 設定]を選択した場合、IP アドレスとサブネットマスクを入力する画面になります。入力し、[次へ]ボタンを押してください。



インターフェースの数だけ、同じ処理を繰り返します。

全てのインターフェースの設定が完了し、1 つでも固定 IP の設定があった場合、ゲートウェイ等の設定画面が表示されます。

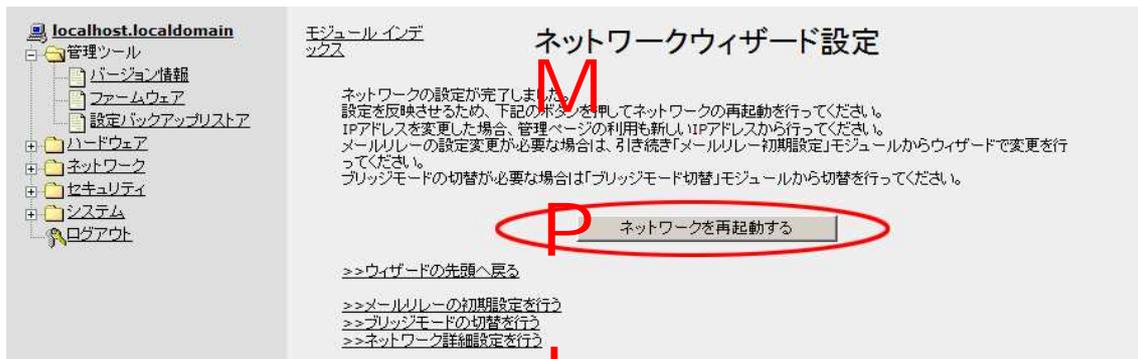


[ゲートウェイ][ホスト名][ネームサーバ]の項目を入力してください。入力し、[次へ]ボタンを押してください。

確認画面が表示されます。問題なければ[次へ]ボタンを押してください。設定が反映されま  
 す。



設定反映後、次の画面が表示されます。[ネットワークを再起動する]ボタンを押すとネット  
 ワークが再起動し、反映された設定が有効になります。



L  
 E  
 !

### 3.4. ネットワークカードの詳細設定

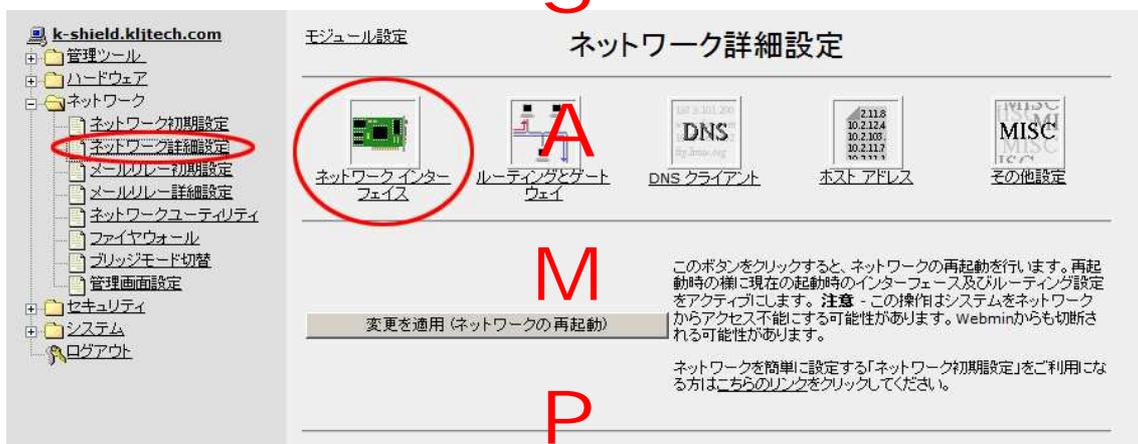
[ネットワーク詳細設定]画面から、個別に設定を行います。

出荷時、ネットワークカードは、1 目目(eth0)は 192.168.10.1、2 目目(eth1)は 192.168.10.2 になっています。

ブリッジモードの場合、eth0 のみを設定してください。

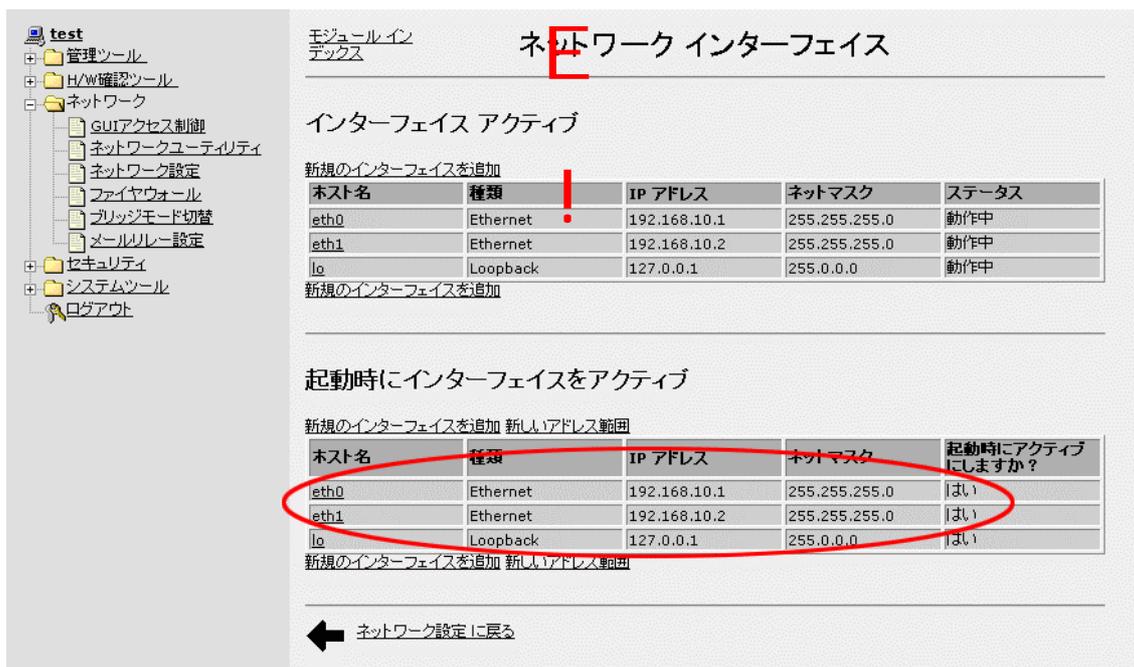
設置するネットワークの、適切なネットワーク設定に変更してください。

ブラウザの左フレームの[ネットワーク][ネットワーク詳細設定]をクリックし、[ネットワークインターフェース]をクリックしてください。

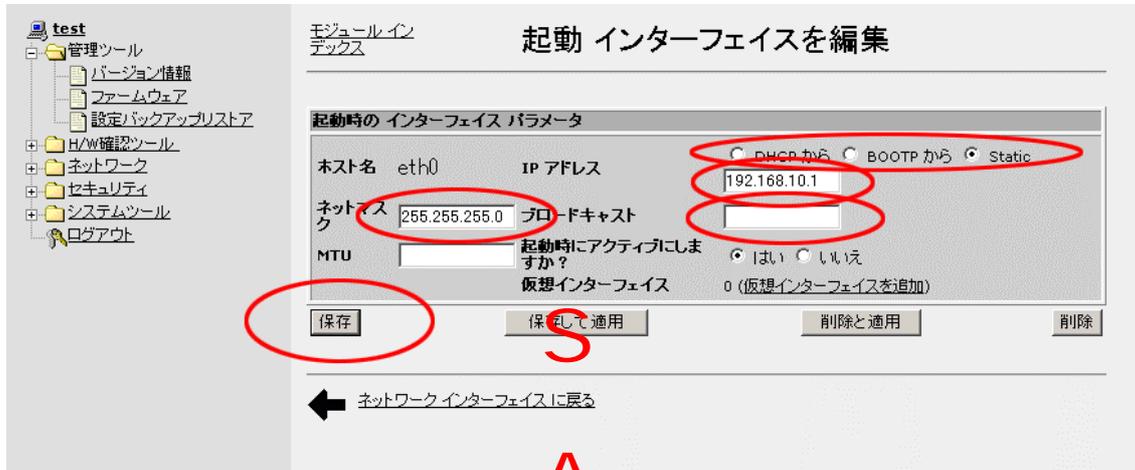


画面下側の、変更したいインターフェース名をクリックしてください。

- 一番左上のラジオボタンでネットワークの種類を選択して下さい。通常は Static です。
- IP アドレスを変更してください。



- ネットマスク、ブロードキャストを変更及び入力してください。
- 最後に左下の[保存]ボタンを押して保存してください。



A

M

P

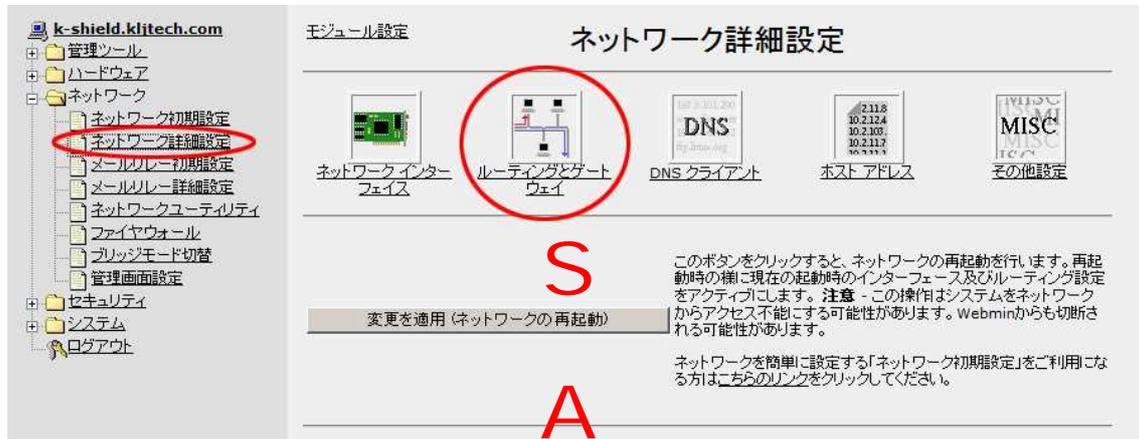
L

E

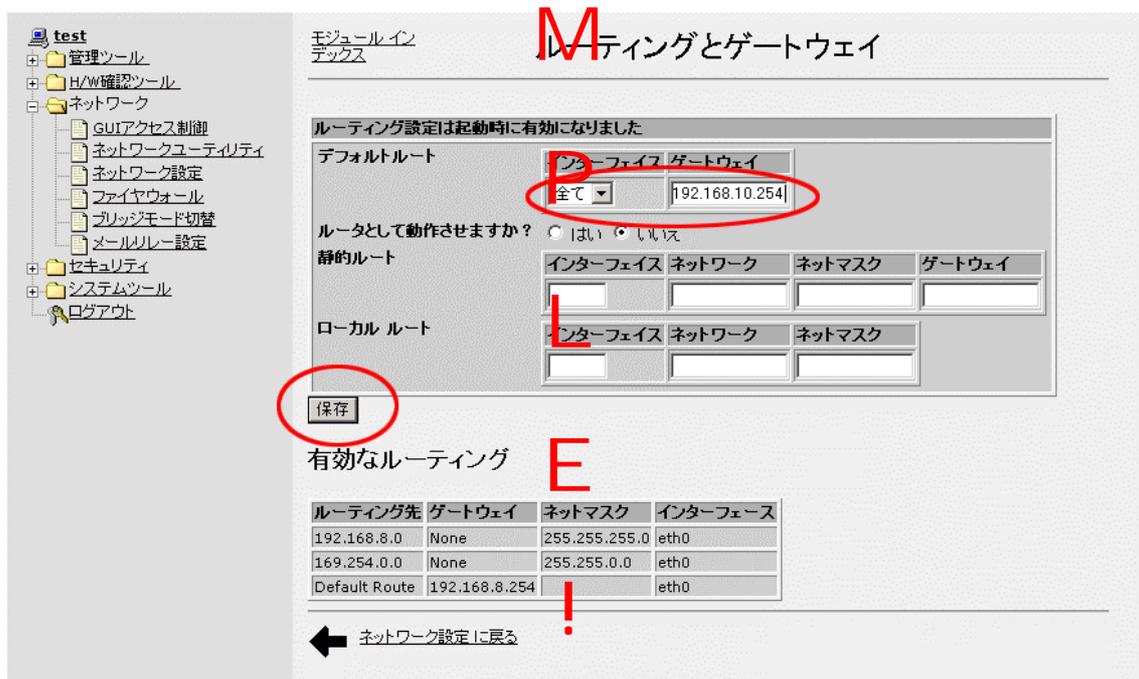
!

### 3.5. ゲートウェイの設定

ブラウザの左フレームの[ネットワーク設定]をクリックし、[ルーティングとゲートウェイ]をクリックしてください。



画面上部の[インターフェース]を「全て」に、[ゲートウェイ]を適切なゲートウェイに変更



してください。変更後、[保存]を押してください。

ブラウザの左フレームの[ネットワーク設定]をクリックし、[変更を適用]をクリックしてください。ネットワーク関連の再起動を行い、設定が反映されます。



以上でネットワークの設定は完了です。

A

M

P

L

E

!

### 3.6. 新しいアドレスベースで GUI にアクセス

新しい IP アドレスベースで管理 GUI 画面にアクセスしてください。

[https://\(新しい IP\):8888/](https://(新しい IP):8888/)

正しく表示されていることを確認してください。正しく表示されない場合、サポートセンターにお問い合わせ下さい。

S

A

M

P

L

E

!

## 4. プロキシの設定

アプライアンス上で動作する POP、HTTP のプロキシ設定と、コンテンツフィルタリングである i-FILTER の設定が行えます。

### 4.1. POP3 プロキシ設定

ブラウザの左フレームの[セキュリティ][プロキシ設定]をクリックし、[POP3 プロキシ設定]をクリックしてください。



#### 4.1.1. プロキシの起動と停止

プロキシのプログラムの開始、停止、再起動は、画面上部のボタンで行えます。プログラムが起動している場合は[プロキシの停止]と[プロキシの再起動]ボタンが表示されます。プログラムが停止している場合は[プロキシの開始]ボタンが表示されます。

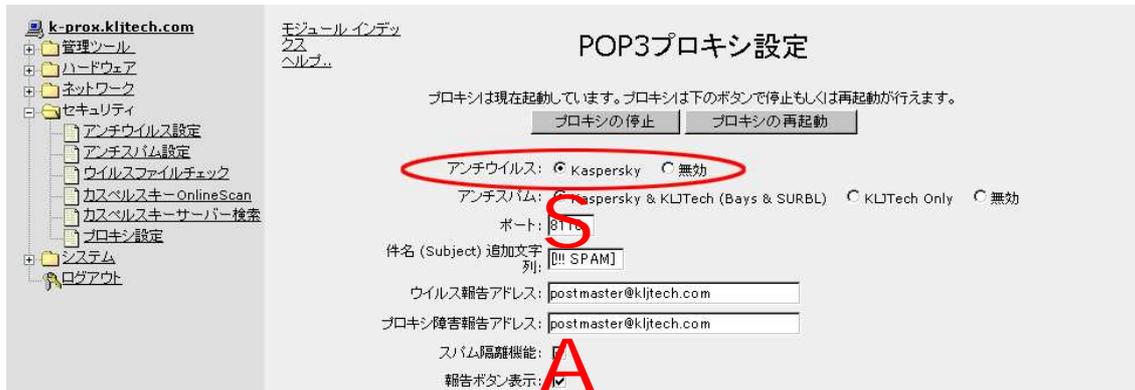
設定を変更した場合、反映を行うために必ず[プロキシの再起動]ボタンをクリックしてください。



#### 4.1.2. アンチウイルス及びアンチスパム機能の選択

アンチウイルスの機能は、[Kaspersky]と[無効]の2種類から選択できます。

Kaspersky のライセンスが有効であれば[Kaspersky]を選択してください。ライセンスが無効、もしくは機能を使用しない場合は[無効]を選択してください。



アンチスパムの機能は Kaspersky が提供するエンジンと、KLJTech のオリジナルエンジンの2つが存在します。両方のエンジンを使用するか、KLJTech のオリジナルエンジンのみか、アンチスパムフィルタリング機能を無効にするかの3つから選択できます。

Kaspersky と KLJTech 両方のエンジンを使う場合は[Kaspersky & KLJTech]を選択してください。KLJTech のエンジンのみの場合は[KLJTech Only]を選択してください。機能を無効にする場合は[無効]を選択してください。

